

あいくるま Agri Community

あいくるま

2021.10 第3号

発行元
NPO法人 子育て家庭支援センター
あいくる
TEL 2966-2848
HP aikuru-iruma.com

入間の野菜

毎日食している食材の産地を気にしていますか？

入間では沢山の野菜を季節を通じて栽培していますが、知っていますか？

入間市で食に関する調査をしたところ、入間市でとれる野菜を知っている順位は下記のようになりました！

- 1位 (90%) お茶 ← ダントツの知名度!! ⊕
2位 (40%) 里芋、ほうれん草、小松菜
4位 (25%) ししとう、じゃがいも、ごぼう

- 3位 (30%) 大根、長ネギ、にんじん
5位 (20%) トウモロコシ

- 6位 (10%) うど

順位には入っていない、ゴマ、ブロッコリー、ひよこま、きゅうり、玉ねぎ、白菜、大豆、ごま芋等 多品種の野菜の他に、豚肉、牛肉、鶏卵等、入間で生産されています。食卓やおせわの材料は、ほぼ揃いそで可ね！ 入間、すごい！！

～入間の畑からの贈り物～

今回は入間市の加藤農園 加藤敏夫 さんのお話です！

『私の家では、私が4代目となり先祖からこの野田地区で、農業を続けて来まして。二男の息子が私の4代を継いでくれ、野菜農家として、4人の力かで現在、借地を含め、約5haの面積で野菜を中心とした経営を行っています。息子もビニールハウスを中心に、互いに協力し合いながら、季節に合った野菜を作付けしています。』



冬から春にかけて、うど、ひょうたん、夏にはトウモロコシ、枝豆、トマト、秋にはねぎ、里芋、ブロッコリー、ほうれん草、人参、ごぼう、大根、その他14品目くらい作っています。

ハウス300坪ぐらいありますが、ほとんど露地野菜が中心のため、1年を通して天候に左右される事が多く、一番心配な事は、自分の思っている野菜が収穫できなかったとき、とても気持ち悪いです。しかし、台風や病害虫 などにやられ、収穫できない時もあります。

今年は雨が多かったです。それほど被害も無く、8月までは順調に収穫できています。これから、9月から10月にかけて、里芋、ねぎ、ごぼう等の収穫と、秋・冬野菜の播種、植付けが忙しくなります。

販売は、農協と、スーパー、バリエーション野田店、能登店に出荷しています。学校給食も出荷提供しています。年が不足してしまう、現在、行っています。

私の信念として、安心、安全な野菜を作るために有機堆肥を利用して栽培をしています。』